

# 海難予報

令和7年10月

## 集中豪雨や台風襲来に注意!!

例年、8月、9月には集中豪雨や台風襲来の影響により、**係留中の船舶が浸水（沈没）する等の海難**が発生しています。船舶が沈没した場合、自船の被害のみならず、油の流出等で、周囲にも大きな損害を与える可能性もあるため、「**早めの気象海象情報の入手**」や「**係留状態の強化**」等の対策を徹底しましょう。

浸水（沈船）した船舶

### 浸水（沈没）対策

- ◎船舶の陸揚げ・固縛の強化
- ◎静穏度の高い海域への早期避難
- ◎係留の強化（係留索の摩耗等確認）
- ◎スカッパー及び甲板の排水設備の開放の確認

## トピックス TOPICS

### 船舶事故が増加しています！

7月末現在で船舶の事故が15隻発生しており、昨年同時期比+11隻と大幅に増加しています。また、そのうち10隻が衝突事故によるものです。「**常時適切な見張り**」を徹底するなど、事故防止に努めましょう！！

|     | R6 | R7  |
|-----|----|-----|
| 7月末 | 4隻 | 15隻 |
| 年間  | 8隻 | —   |

【対馬周辺海域での船舶事故発生数】

## 熱中症に気を付けよう

今年もすでに厳しい暑さとなっており熱中症のリスクが高まっています。

「熱中症が疑われるときの応急処置」（右図）をご参考いただき、熱中症への適切な対策を行い、暑い夏を乗り切りましょう。

### 熱中症対策

涼くなるアイテムを持とう

直射日光を避けよう

こまめな水分補給



日本気象協会推進  
「熱中症ゼロへ」  
プロジェクト 公式サイト

### 熱中症が疑われるときの応急処置

#### チェック1 熱中症を疑う症状がありますか？

めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温



はい

救急車を呼ぶ

#### チェック2 意識がありますか？

いいえ

救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。呼びかけへの反応が悪い場合には無理に水を飲ませてはいけません。

はい

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

水枕や保冷剤で両側の首筋やわき、足の付け根などを冷やしましょう。皮膚に水をかけて、うちわや扇子などであおぐことでも体を冷やすことができます。



#### チェック3 水分を自力で摂取できますか？

いいえ



はい

水分・塩分を補給する

大量に汗をかいている場合は、塩分・糖分を一緒に補給できるスポーツドリンクや経口補水液、食塩水（1ℓの水に対して1～2gの食塩を加える）がよいでしょう。



#### チェック4 症状がよくなりましたか？

いいえ



はい

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう

医療機関へ  
本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状態を伝えましょう。



対馬海上保安部・比田勝海上保安署

海の安全情報

検索